

# センター月だより

## 7月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

### ・声かけ活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	3	0	2	5
声かけ件数	543	197	258	998
参加者数	74	34	40	148

(指導日誌より抜粋)

#### 多治見地区

- ・駅前が多治見北高の生徒と、自転車の安全運転に関する啓発活動を行った。高校生が下校時の同年代や勤め帰りの大人たちに、暑い中汗を拭きながらチラシを配ってくれた。(7/11 特14)
- ・学校帰りの高校生の中に、中学の卒業生がいた。頑張るように声をかけた。(7/12 昭和4)
- ・塾や学校帰りの高校生に声をかけると、しっかりあいさつが返ってきた。(7/13 共栄3)
- ・小学生、中学生、高校生とも落ちついた様子で、とても良いあいさつを返してくれた。部活にがんばる姿もあった。夏休み中の安全を願う。(7/18 養正1)
- ・セガワールド2階で、たばこを吸っていた少年3人に声かけ。サイゼリアの前ではバイク(暴走族風?)の7~8人がやや挑発的な態度だったが、声かけをした。(7/18 根本10)
- ・巡回後、前日の班長会議について班の方々に報告。他校区の良い点を紹介した。(7/18 脇之島12)
- ・夏休みのためか、児童館にいた子どもたちが、元気よくあいさつしてくれた。「多治見にプールがあるといいな~」と言う子もいた。(7/20 北栄11)
- ・地区の夏まつりで大勢の子どもたちに声をかけることができた。浴衣姿も多かった。暗い場所にいた子どもたちに、明るい場所へ行くよう声かけして巡回した。(7/28 南姫9)

#### 瑞浪地区

- ・駅前で電車を待っている女子高生や駐輪場にいた高校生男女に、気を付けて早く帰るように声かけした。前回から1週間だったが、ゴミやたばこの吸いがらは少なかった。(7/5 明世H)
- ・ゴミが多い。パロー裏はたばこの吸いがら多く、ピンの破片が散乱。処理をした。(7/12 瑞浪A)
- ・水上神社祇園祭でしたが、夕方の雷雨で昨年に比べ中高生を含め人手は少ないようでした。途中から、雨も降り始め子どもたちも早めに帰ったようです。(7/13 陶E)
- ・明德橋下で、3家族がバーベキューをしていた。気を付けるように声をかけた。(7/21 土岐D)
- ・ドラッグストア裏に、おかしやジュースのゴミ、吸いがらが落ちていた。(7/23 稲津F)
- ・夏休みに入ったが、高校生たちは学校へ登校する生徒が多い。20時を過ぎても駅には多数の生徒がいた。化石公園ヒカリの森の道路にバイクのタイヤ痕あり、暴走行為か?(7/26 日吉I)
- ・釜戸町の夏まつりだった。駅で帰宅途中の高校生に声かけした。(7/27 釜戸G)

## 土岐地区

- ・ 駅前の階段付近に4つのグループ。いずれも電車や迎え待ちのようす。声かけする。(7/2 土岐 1)
- ・ 駅西駐車場の奥に新たに駐輪場ができていた。6/28 班長会の後、夜9時頃駅裏の岩畑公園で若者たちが20~30人集まっていた。声かけしたところ、素直に受け答えしてくれた。(7/3 特A)
- ・ 駅前、駅裏で帰宅中の高校生20~30人に声かけ。あいさつを返してくれる子が多い。(7/8 泉 8)
- ・ 男子小学生が虫取り網を振り回していたので注意すると、素直にやめて歩いていった。(7/9 鶴里 4)
- ・ 暑さで、外に出ている子はほとんどいなかった。ウェルフェアで情報交換、子どもたちは前より落ち着いてきたとのこと。(7/12 妻木 3)
- ・ 駅ベルマートでは、カウンター席を使う女子高生が長居をして困るとの話があった。(7/17 泉 9)
- ・ 駅前で自転車の高校生にチラシを配り、注意して運転するように伝えた。駅東踏切付近で、自転車の女子高生2人が右側通行していたので注意すると、すぐに直してくれた。(7/17 特B)
- ・ 下石公民館(楽習舎)の駐車場でボール遊びをしていた男子小中学生に、駐車している車に注意するように話すと、「ハイ。」「お疲れ様です。」と元気な返事があった。(7/26 下石 2)

## センターから

7月5日、センターの運営協議会が開かれました。そこで大きく問題とされたのが、現在爆発的に広がっている「LINE(ライン)」やツイッター等によるトラブルの発生です。ご承知とは思いますが、「LINE」はスマートフォンで主に使われている、メッセージを書いたり無料で電話が出来るアプリケーションです。

問題は子どもたちが社会のルールを知らないまま、そういう情報ツールを使って、著作権・肖像権や友だちのプライバシーを侵害することがあるということです。携帯電話やスマートフォンはどんどん低年齢化していますので、小学生のうちに関連した社会のルールを教えなくては行けないと、学校での対応検討も進められています。

しかし、最も重要なのは保護者の対応です。子どもたちに携帯電話等を買って与える時、きちっとルールを教え守らせることが大切です。

そのため保護者の方も、携帯やスマートフォンで何が出来るのか、何が危険なのかを知ることが必要です。家庭学級などで勉強会も進められているようです。子どもたちを守るために、積極的に正しい知識を身に付けてください。一例を紹介します。

### 「LINE」の問題点(一例)

インストール時の**初期設定**によっては

- ・ 自分の電話帳に古い友人の電話番号が残っていると、**新しい別の人が勝手に友だち**になる。
- ・ 自分の電話番号を電話帳に登録している人が「LINE」をインストールすると、**勝手にその人の友だちとして登録**される。

#### その結果

- ・ メッセージや写真などを「LINE」に載せるとその知らない人もそれを見ることができる。
- ・ 知らない人からメッセージが来る。

#### これを防ぐには

**初期設定を変える**必要があります。

「友だち」とは「LINE」で連絡を取り合える相手のこと

## 痛切に知って置く必要がある

我々は我々自身のあてにならない事を、痛切に知って置く必要がある。  
実際それを知っているもののみが、幾分でもあてになるのだ。

ひとこと

芥川龍之介